

高知

岩村支部

野村 干城支部長（六段位・上級公認指導員）

千利休の教え手本に、おおらかでアットホームな稽古心掛ける
近隣の支部や個人会員と月例会のグループ組織したい

吹矢は私にとって「立禅」であり、的は心を映す鏡。気持ちが悪ければ矢も乱れます。一矢ごとの緊張を集中力に変えるためには、正しい姿勢と呼吸法、そして自信が欠かせず、その稽古は人生の拠り所です。そんな吹矢の普及をしたいと思っています。



稽古始めには6・8・10mを各1ラウンド吹き、距離ごとの照準や呼吸の一定を学び、初心を忘れぬよう努めています。千利休の「稽古とは一より習い十を知り、十よりかえるもとのその一」を手本に、おおらかでアットホームな稽古を心がけ、今後は近隣県の支部や個人会員で月例会のグループを組織できたらと考えています。